

令和2年度第1回資金管理委員会議事録要約

[開催日時] 令和2年8月5日(水) 13時30分～15時00分

[開催場所] 兵庫県庁(WEB会議で開催)

[出席者(会長◎)]

- ◎ 甲斐 良隆 京都情報大学院大学教授
- 石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員
- 佐竹 隆幸 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授
- 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
- 水上 拓也 地方公共団対金融機構地方支援部副部長兼ファイナンス支援課長
- 米田小百合 公認会計士

1 令和2年度 兵庫県市場公募債等の発行

- 国債の大量発行や地方債の発行増により、市場の不安定化が見込まれる。また、今の金利は金融機関としても相当厳しい水準で、今後、金融機関がどこまで資金を出せるかといった懸念もある。
- 現在の環境を踏まえた上で取り組んでいる前倒し調達について異論はないので、引き続き安定的かつ低利な資金調達を推進すること。

2 関連公社の資金運用状況

- 年々健全化が進んでおり、関連公社の資金管理体制は強化されている。
- (現在のような低金利環境が今後も続くのであれば) 将来的には、あらかじめポートフォリオを定めた上で、リスク商品を運用するという動きも必要はないか。

3 令和2年度「兵庫県及び関連公社等資金運用指針」等研修会の開催(報告)

- 今年度は初めてWEB形式で開催したが、非常に有意義な研修会であった。

4 その他

- 金融機関が手数料を求める動きが最近出ている。今後の県への影響に注意しておく必要がある。